3年 国語

修飾語を使って書く

3年　　組

名前

1 ①～③の言葉とそのせつ明を線でつなぎましょう。

① 主語	「どんな」「どのくらい」のように文の意味をくわしくする言葉。
② 述語	文の中で「だれが(は)」「何が(は)」に当たる言葉。
③ 修飾語	「どうした」「どんなだ」「何だ」に当たる言葉。

2 ①～⑤の～～の修飾語はどの言葉に係りますか。係る言葉の右に――を引きましょう。

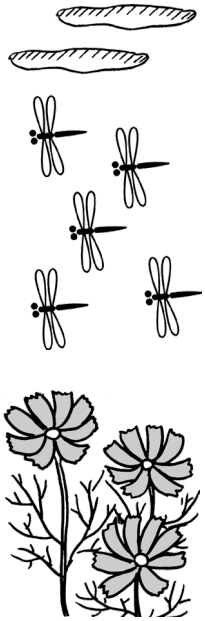
① 夕空を　たくさん　とんぼが　とんでいる。

② 夕空を　たくさんの　とんぼが　とんでいる。

③ 公園には　きれいな　コスモスが　さいている。

④ 公園には　きれいに　コスモスが　さいている。

⑤ レンは　本を　開いて　読み始めた。





レン

3 ①②の――の言葉は、それぞれ修飾語のどれに当たりますか。□からえらんで（　）に書きましょう。

① かりんの　ぬいぐるみは、（　　）まどべに（　　）ちょこんと　おかれていた。

② はかせは　きのう　池の（　　）（　　）コイに　エサを　あげた。

どこの・何を・どこに・いつ
だれの・どのように・だれに

※言葉はそれぞれ一度しか使えません。



はかせ



4 ①～④の空いている□に当てはまる文字を□からえらんで書きましょう。また、◀を横に読んで、⑤の□に漢字で書きましょう。

	①	②	③	④	⑤
	ん	や	わ	は	
	ん	い	む	ど	
	ち				

◀

ご・い
も・と
で・き
け・か



かりん

文字はそれぞれ一度しか使えないよ。

小学館「みんなの教育技術」（https://kyoiku.sho.jp/）　イラスト／嵩瀬ひろし